



針尾送信所保存調査特別公開

大正11年（1922）に完成した旧佐世保無線電信所（針尾送信所）施設は、平成25年（2013）に国重要文化財（建造物）に指定されました。

建設後100年を経過してもなお悠然と聳え立つ灰色の巨塔は、近代化へと進んだ日本の象徴でもあり、かつ戦争を経験した平和の象徴となっています。

この針尾送信所を永く保存していくため、現在、劣化状況や耐震性を検証するための「保存調査」を実施しています。その一貫で、1号無線塔の基礎の形状を確認するため、地下約6mを掘削しており、本来見ることができない無線塔、そして近代化遺産の「礎（基礎）」を特別公開します。

※天候不順の際は中止となる場合があります。

【日時】令和5年9月9日（土）～10日（日） 10:00～15:00

【場所】旧佐世保無線電信所（針尾送信所）施設（1号無線塔）
長崎県佐世保市針尾中町382

【入場料】なし 【予約】不要

【駐車場】あり（自家用車30台、大型バス2台程度）

【問合せ】〒857-1166 長崎県佐世保市八幡町1-10
佐世保市教育委員会文化財課
Tel 0956-24-1111（代表） Fax 0956-25-9682

揮毫：針尾無線塔保存会長 田平清男